

2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年11月9日

上場会社名 図研エルミック株式会社
 コード番号 4770 URL <https://www.elwsc.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 尉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 江口 慎一

TEL 045-624-8111

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	243	36.3	101		92		112	
2020年3月期第2四半期	382	4.6	6		6		8	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	17.86	
2020年3月期第2四半期	1.37	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	692	511	73.8	81.39
2020年3月期	822	623	75.9	99.25

(参考)自己資本 2021年3月期第2四半期 511百万円 2020年3月期 623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	600	22.1	120		110		130		20.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	6,284,944 株	2020年3月期	6,284,944 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	230 株	2020年3月期	230 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	6,284,714 株	2020年3月期2Q	6,284,784 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(四半期損益計算書関係)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、国内の製造業・非製造業ともに業績が大幅に悪化しましたが、夏以降は外需の回復や各種需要喚起策により小幅ながらも景況感の改善が見られるようになりました。

当社が属する情報通信・エレクトロニクス業界におきましては、DX(デジタル・トランスフォーメーション)関連の開発投資意欲こそ大きな変化はありませんが、需要減により大幅な業績悪化となった企業や、米中貿易摩擦の影響を受けるデバイス関連企業を中心に新規開発プロジェクトの抑制、予算執行延期の動きは著しく、業況は厳しいまま推移いたしました。

このような事業環境の中で当社は、通信ミドルウェア事業の単一セグメント企業として、強みであるストリーミング技術・イーサネット通信技術を基に、ネットワークからメディア配信/管理まで一貫通貫で技術を提供できる事業構造にするべく、お客様との関係強化と需要開拓、そして事業環境の変化に柔軟に対応できる社内体制の構築に力を注いでまいりました。

このように事業活動を展開し、企業価値と資本効率を向上させるよう努力を重ねてまいりましたが、需要先各社における新規開発プロジェクト抑制の影響は大きく、当第2四半期累計期間の売上高は2億43百万円(前年同四半期比36.3%減少)となりました。また損益面では、経費削減をはじめとする対策を講じたものの、売上高減収の影響は大きく、営業損失は1億1百万円(前年同四半期は営業損失6百万円)、経常損失は92百万円(前年同四半期は経常損失6百万円)となり、さらに業績推移と今後の業績動向を踏まえ繰延税金資産の取崩しを行ったことから、四半期純損失は1億12百万円(前年同四半期は四半期純損失8百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、6億92百万円となり、前事業年度末に比べ1億29百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少94百万円、繰延税金資産の減少17百万円等によるものであります。

負債の部は、1億81百万円となり、前事業年度末に比べ17百万円減少いたしました。これは主に、買掛金の減少6百万円、未払消費税等の減少10百万円等によるものであります。

純資産の部は、5億11百万円となり、前事業年度末に比べ1億12百万円減少いたしました。これは、四半期純損失の計上に伴う利益剰余金の減少1億12百万円によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税引前四半期純損失92百万円を計上したものの、売上債権回収94百万円や助成金収入9百万円等により、当第2四半期会計期間末の資金は、前事業年度末から6百万円減少の4億74百万円となりました。

また、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローは次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、営業活動の結果得られた資金は1百万円(前年同四半期比69.7%増加)となりました。

これは主に、税引前四半期純損失92百万円(前年同四半期は税引前四半期純損失6百万円)を計上したものの、売上債権の減少94百万円(前年同四半期は売上債権の増加2百万円)等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、投資活動の結果使用した資金は5百万円(前年同四半期比32.6%減少)となりました。

これは主に、無形固定資産の取得による支出5百万円(前年同四半期比38.5%減少)等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、財務活動の結果使用した資金は2百万円(前年同四半期比10.4%増加)となりました。

これは、リース債務の返済による支出2百万円(前年同四半期比10.4%増加)によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年8月5日に公表しました業績予想からの変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大や収束時期、それに伴う経済動向には相当程度の不確実性があり、実際の当社業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。開示すべき重要な事項が発生した場合には速やかに業績への影響を開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	480,748	474,714
受取手形及び売掛金	221,356	126,821
商品及び製品	1,628	813
仕掛品	2,032	3,706
原材料	26	26
前払費用	23,800	36,181
その他	9,847	789
貸倒引当金	△100	△100
流動資産合計	739,339	642,952
固定資産		
有形固定資産	13,344	12,648
無形固定資産	25,474	20,438
投資その他の資産		
投資有価証券	3,500	3,500
長期前払費用	19,577	9,920
繰延税金資産	17,714	—
その他	5,033	5,247
貸倒引当金	△1,850	△1,850
投資その他の資産合計	43,975	16,817
固定資産合計	82,794	49,905
資産合計	822,134	692,857
負債の部		
流動負債		
買掛金	25,658	19,329
未払法人税等	8,388	7,048
前受収益	42,023	60,457
賞与引当金	36,540	35,080
製品保証引当金	9,759	8,189
その他	32,927	22,079
流動負債合計	155,299	152,185
固定負債		
長期前受収益	25,677	12,415
退職給付引当金	2,729	2,729
その他	14,684	14,020
固定負債合計	43,091	29,165
負債合計	198,390	181,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	135,998	135,998
利益剰余金	△12,137	△124,373
自己株式	△117	△117
株主資本合計	623,743	511,507
純資産合計	623,743	511,507
負債純資産合計	822,134	692,857

（2）四半期損益計算書
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
売上高	※1 382,209	※1 243,642
売上原価	171,772	140,461
売上総利益	210,436	103,180
販売費及び一般管理費	※2 217,117	※2 204,961
営業損失（△）	△6,680	△101,780
営業外収益		
受取利息	7	2
受取手数料	23	21
助成金収入	—	9,808
その他	—	15
営業外収益合計	30	9,847
営業外費用		
支払利息	108	115
為替差損	44	30
固定資産除却損	—	170
営業外費用合計	152	316
経常損失（△）	△6,802	△92,249
税引前四半期純損失（△）	△6,802	△92,249
法人税、住民税及び事業税	2,315	1,968
法人税等調整額	△521	18,018
法人税等合計	1,793	19,987
四半期純損失（△）	△8,595	△112,236

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失（△）	△6,802	△92,249
減価償却費	8,336	12,065
賞与引当金の増減額（△は減少）	△617	△1,460
製品保証引当金の増減額（△は減少）	480	△1,570
受取利息及び受取配当金	△7	△2
支払利息	108	115
為替差損益（△は益）	44	44
助成金収入	—	△9,808
固定資産除却損	—	170
売上債権の増減額（△は増加）	△2,070	94,535
たな卸資産の増減額（△は増加）	△7,919	△858
仕入債務の増減額（△は減少）	18,083	△6,328
前払費用の増減額（△は増加）	△57,407	△2,724
前受収益の増減額（△は減少）	73,425	5,172
未払消費税等の増減額（△は減少）	△6,957	△10,288
その他	△11,016	5,232
小計	7,680	△7,956
利息及び配当金の受取額	7	2
利息の支払額	△108	△115
助成金の受取額	—	9,808
法人税等の支払額	△6,611	△96
営業活動によるキャッシュ・フロー	968	1,642
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△252
無形固定資産の取得による支出	△8,264	△5,085
敷金及び保証金の差入による支出	—	△214
その他	28	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,236	△5,551
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1,884	△2,080
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,884	△2,080
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44	△44
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△9,197	△6,033
現金及び現金同等物の期首残高	483,062	480,748
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 473,864	※ 474,714

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り）

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動停滞による影響について、取引先各社における新規開発プロジェクト抑制による減収が著しい第1四半期累計期間の決算を踏まえ最善の見積りを行った結果、当事業年度においては第4四半期には収益の回復が見込めるものの、第3四半期累計期間までの税引前四半期純損失を解消するには至らないことが想定されるため、第1四半期会計期間末において繰延税金資産の回収可能性を見直し、全額取り崩しております。

なお、当該見積りは、現時点で最善の見積りではあるものの、不確実性が含まれるため、予測不能な前提条件の変化等により見積りが変化した場合には、将来の財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

（四半期損益計算書関係）

※1. 売上高の季節的変動

前第2四半期累計期間（自2019年4月1日至2019年9月30日）及び当第2四半期累計期間（自2020年4月1日至2020年9月30日）

当社では、製品の出荷や取引先の検収が9月及び3月に集中することから、第2四半期会計期間及び第4四半期会計期間の売上高及び営業利益の割合が高くなる傾向があり、四半期会計期間毎の業績に季節的変動があります。

※2. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次の通りであります。

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
給与手当	55,011千円	55,283千円
賞与引当金繰入額	16,057	14,346
研究開発費	20,907	17,753
減価償却費	1,955	2,053

（四半期キャッシュ・フロー計算書関係）

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
現金及び預金勘定	473,864千円	474,714千円
現金及び現金同等物	473,864	474,714